

☆ ^{すいせい} ムーミン谷の彗星

ヤンソン著 講談社



地球へ彗星衝突の危機がせまる中、ムーミントロールはその正体を調べるため、仲間と共に天文台に向かいます。長く読み継がれた作品で、シリーズは9冊あります。

☆ ^{ひみつ} 戦場の秘密図書館

トムソン著 文溪堂



シリア内戦下の街ダラヤの銃弾が飛び交う危険エリアに「秘密の地下図書館」がありました。そのことを知った著者は、関係者への取材を試みます。戦争中の街で本当にあったお話です。

☆ ^{まじよ たつきゅうびん} 魔女の宅急便

角野栄子作 福音館書店



魔女の少女キキ。新しい町で黒猫のジジと一緒に、空飛ぶ「宅急便屋さん」を始めることにします。シリーズは全部で6冊あります。

☆ ^{みのり} 美乃里の夏

藤巻史絵作 福音館書店



夏のある日、美乃里は同じ名前を持つ男の子と出会います。「美乃里」と「実」。ふたりの「みのり」は、町の小さな銭湯のそうじを手伝うことになるのですが…。

2022

夏休みにすすめる本

5・6年生のみなさんへ



※文字を読むのがむずかしい方は、音声版を利用できます。
図書館へご相談ください。

おうちの方へ

ここに紹介する本は、調布市内の読書指導を研究する先生方と図書館の協力で、実践の中から選んだものです。

刊行物番号 2022-62

令和4年7月7日 発行

調布市立小学校
教育研究会図書館研究部
調布市立図書館

表紙写真は

『5000 キロ逃げてきたアーメット』（学研プラス）
『スイマー』（ポプラ社）
『ムーミン谷の彗星』（講談社）

より

アヤカシさん

富安陽子作 福音館書店



ケイには、十歳しか離れていないメイおばさんがいます。じつは、ふたりには誰にも知られていない重大な秘密がありました。

うちにカブトガニがやってきた!?

石井里津子文 学研プラス



著者とその家族は、カブトガニの卵を家でふ化させ、育て始めます。2億年前から姿を変えていないカブトガニの生態は驚くことばかりでした。

5000 キロ逃げてきたアーメット

ラウフ作 学研プラス



アレクサのクラスに、しゃべらない男の子アーメットがやってきました。アーメットのひみつを知ったアレクサたちは、彼を助けようとある作戦を決行します。

すばらしいとき

マックロスキーぶんとえ 福音館書店



ある一家が、アメリカメイン州の小島で過ごす春から夏をえがいた美しい絵本です。

お静かに、父が昼寝しております —ユダヤの民話—

母袋夏生編・訳 岩波書店



ユダヤ人は長い間、世界各地に散らばって暮らしてきました。それぞれの社会で語りつがれてきた、ユーモアのある32の民話と、旧約聖書の物語が6つ入っています。

風と木の歌

安房直子著 偕成社



こぎつねに青くそめてもらった指で恋をつくってのそくと、もうあえないはずの少女のすがたが見えました。人間や動物や木の精たちのふしぎな童話集です。

せんねんまんねん

—まど・みちお詩集—
まど・みちお作 童話屋



「つぼを 見ていると しらぬまに つぼの ぶんまで いきを している」まどさんの楽しい詩が、たくさん収められています。

それでも、海へ —陸前高田に生きる—

安田菜津紀写真・文 ポプラ社



東日本大震災後、漁をあきらめかけていたじいちゃんを、再び海へ向かわせたのは、孫のしゅっぺの言葉でした。陸前高田の港町で生きる人々を力強く写真で伝えます。

ことばハンター —国語辞典はこうつくる—

飯間浩明著 ポプラ社



数年に一度内容が見直される国語辞典。その編纂者である著者は、「現在」使われている言葉を求めて、本やテレビ、街で出会う言葉を観察しています。

☆ ジム・ボタンの機関車大旅行

エンデ作 岩波書店



小さな島国フクラム国に、ある日、なぞの小包が届きます。中にはなんと赤ん坊が！その子は、ジム・ボタンと名づけられました。

だいきり 大力のワーニャ

プロイスラー作 岩波書店



ワーニャは三人兄弟の末っ子で、この上ないなまけものでした。ところがある日、知らない老人に「おまえが皇帝になる」と告げられて、冒険の旅に出ます。

スイマー

高田由紀子著 ポプラ社



ある出来事を機に、東京の強豪スイミングクラブをやめた航。引っ越し先で同級生3人に誘われ、経営難の市営プール存続のため、水泳で県大会を目指すことに。切磋琢磨する4人でしたが…。

☆はシリーズのあるもの